

[CASE 04]

家族がひとつになれる家

〈家族構成〉夫41歳、妻40歳、長女11歳、長男8歳、次男5歳、三男3歳、四男1歳
 〈入居日〉2023年08月

少子化社会といわれる昨今ですが、なんとK様はご夫妻2人とお子様5人の賑やか家族です！

「11年前、千葉県に戸建てを購入しました。子供が伸び伸び暮らせる住環境でしたが、気が付けば女の子1人に男の子4人の大家族。家庭で子供たちと過ごす毎日は充実していましたが、外に働きに出たい気持ちが次第に強くなり始めたんです。」

そんな奥様にご実家が「子供たちの面倒を見ようか?」と言ってくれたことが、家探しのきっかけになったそうです。



設計図から見えた、子供たちの笑顔

ご夫妻は千葉の家の売却を決意。家探しの一步を踏み出します。

「実家まで徒歩、遠くても自転車圏内なら夫妻が不在で子供たちに何かあったとき、母の手を借りられる。逆に母が高齢になって何かあったときにも、すぐに駆けつけられる。」

まずは『実家のある都市部で家を探す』ことから始めて不動産を巡る中、今の物件との出会いがありました。ご夫妻が目止めた物件はまだ更地で、設計図が引かれただけの状態。ですが戸建て購入経験のあるご夫妻は、完成イメージと家族の形を重ねることができたのです。

「設計図だけで建築後が具体的に想像できたのは、以前の居住空間を比較出来たからでしょうね。」

いただいた戸建ての完成図が、まあ格好いい。あくまでイメージでしかたけど、ワイドバルコニー、陽射し、部屋数、駐車場…これなら子供たちが多くても快適に暮らせると感じました」

「当時はまだ千葉に住んでいて、子供たちから目が離せず頻繁に通うのは難しかったことから、メールベースの打ち合わせが主でした。そのうえで現地へ足を運んだり、直接の打ち合わせをしたり。と言っても、数回の打ち合わせでおおよそのことは決まりました。あとは完成していくまでの状況を確認に通っていた程度でしたね。」

担当さんには事細かくアドバイスをいただきました。「ここの変更は可能ですか?」「ここはどれを選べばいいですか?」など意見を求めるたびに、すぐに対応いただきました。



↑ 大きなダイニングテーブルに備え付けのカウンター。将来、学校の宿題もみんなできそう。

嬉しかったのが以前の戸建てで気に入っていたスペックを、今の家にも生かせてもらえたこと。もちろん計画していた予算もありますから何もかもというわけにはいきませんが、自分たちの許容範囲内にすべて納めてくださって、本当に納得のいく家が建ちました」

ご要望がしっかり固まっていた上、建築前に購入を決めていただいたことで施主様の要望も取り入れることが可能な物件だったことから、ご夫妻の理想が反映される結果に結びつきました。おうち探しは運やタイミングも…なんて話を聞きますが、ご夫妻のご要望を伺えばうかがうほど、弊社物件はK様ご家族のために作られたのでは!?と思うほど、ご家族の形にフィットしていました。



↑「寝台列車のような」日々も一緒に新しい家へと。お姉ちゃんの部屋にも同じベッドがあるのが素敵ですね。

かなえたい夢が、全部叶う！

「以前の住居にあった南向きワイドバルコニーがとても気に入っていたので、南向きベランダは絶対に必要と決めていました。他に譲れなかったのが、家族のワゴン車が収まる駐車スペースを備えていることと、子供たちの将来のために部屋数が多いこと。

前の家は3LDK。主寝室が大きかったので家族みんなで使っていましたが、お姉ちゃんもまもなく中学生になります。以前から『自分の部屋がほしい』と言われていましたので、1階の4部屋のひとつをお姉ちゃん専用、主寝室を夫妻と男の子4人が寝る部屋として使っています。

以前の家では5畳の部屋に三段ベッドを2つ並べ、寝台列車のようにしていました。この三段ベッドを一つだけ持ち込みましたが、ここでは誰も寝ないので子供たちのおもちゃ部屋になっています。もうひと部屋は空き部屋ですね。」

なるほど、小さいお子様たちは「みんな一緒」が落ち着くのですね。そんなご家族だから、リビングの形は一番の決め手でした。



求めたのは、ひとつの家族であること

「私たちは、子供たちとの時間を何よりも大切にしています。子供たちも、親や兄弟と一緒にいるのが当たり前として育っています。だからこそ、みんなで一緒に過ごせる大きめのリビングがよかったんです。ソファに座ってスマホをいじったり、本を読んだり、ゲームをしたり、テレビを観たりと過ごし方は自由でいいんです。ただみんながこの場所に集まり、顔を合わせて生活を共有する。私たちが求めているのは、ひとつの家族であることなんです」

K様邸は2階リビング。キッチン・トイレ・お風呂・洗濯もすべて2階。寝るとき以外は2階で生活が完結できることが、とても便利と奥様。

「うちは家族が多いから洗濯物も多いんですけど。ワイドバルコニーなら1回ですべて干せますし、お布団も一緒に干せる。しかも南向きで陽射しがよく入るから、夏場は1時間も干しておけば乾きます。

子供たちがリビングから冷蔵庫のアイスを食べたいときにすぐに取りにいけるなど、ちょっとしたことですけど、扉や間仕切りがなくて空間が繋がっているから、子供たちがストレスなく過ごせるんです」

特に小屋裏収納は、子供たちに大人気。

「よく子供たちだけで駆け上がっては、ワーワーキャーキャー言いながら遊んでいます。」

そう微笑むご夫妻から、子供たちが楽しめる住環境を大事にされていることが伝わってきます。

リビングで毎日を共有すること。当たり前で、たいせつなこと↓



↑秘密基地テイスト満載な小屋裏収納。とっても楽しそう！

ご夫妻はそのことを何よりも重視して、千葉からに移住する決意をされました。

「いつかは子供たちも自立し、この家を巣立っていきます。だから家は、戻ってきやすい場所でもありたい。そこまで見据えたうえで、ここを選びました。本当にこれ以上の場所はないという家を手に出れたと思っています」